

報告事項1

役員の仕事執行状況

2025年度事業の実施概要

前田 会長

緑の循環認証会議の活動全般を統括

梶谷 専務理事・事務局長

会長を補佐し、以下の緑の循環認証会議の活動を実施

2025年度事業の概要

2025年は、コロナウィルスを第5種に位置づけられたことも踏まえ、感染対策を取りながら、対面方式、地方への出張も加え、積極的に事業活動を行った。

1. 会議

| | | |
|-----------|------------|------------------------------|
| 総会 | 2025年6月26日 | 対面方式及び書面による議決権の行使(2024年度決算等) |
| 理事会/評議委員会 | 2025年6月12日 | オンラインと対面の併用(2024年度決算等) |
| | 2026年3月日 | オンラインと対面の併用(2026年度予算等) |

2. 規格改正関連

(1) PEFCにおけるEUDR対応のための規格の策定と改正

- ① EUDR に対応したDDSの実施のための任意規格の策定
- ② PEFC持続可能な森林管理規格のEUDR 対応のための改正

上記PEFC規格の策定・改正を踏まえ、「緊急を要する改正」の手続きによりSGEC規格の策定・改正
(2025年3月27日の理事会で承認、)

- ① SGEC-COC規格の枠組みの下で、任意に適用可能なSGEC EUDR DDS 規格(SGEC 規準文書4-1)の策定(2025年4月PEFCの相互承認審査中)
- ② SGEC規準文書3の改正(SGEC規準文書3:2025)(2025年6月30日PEFCの相互承認、**2025年9月1日施行**)

(2) PEFCのFIT/FIPにおけるGHG関連認証制度としての位置付けに向けた対応

3. 認証機関審査員研修の実施 (2025年8月18~22日)

4. 認証機関の公示

2025.7.11 PEFC-COC認証機関としてプリファード・ネーチャーを追加、また、JIAがSGEC-FM認証機関を取り下げ

5. 企業・団体等への対応,

- (1) 東急電鉄等大手ディベロッパー、ハウスメーカー等を含む約60の企業への説明及び意見交換
- (2) FIT/FIP関連でPEFC、三菱総研(経産省の委託)、バイオマス発電事業者協会等関係団体への説明及び意見交換
- (3) 森林林業基本計画の改正に際し、森林認証が適切に位置づけられるよう、FSCと連名で林野庁に要望書の提出

森林林業基本計画改正に向けFSCと連名で林野庁へ要請(2025.9.30)

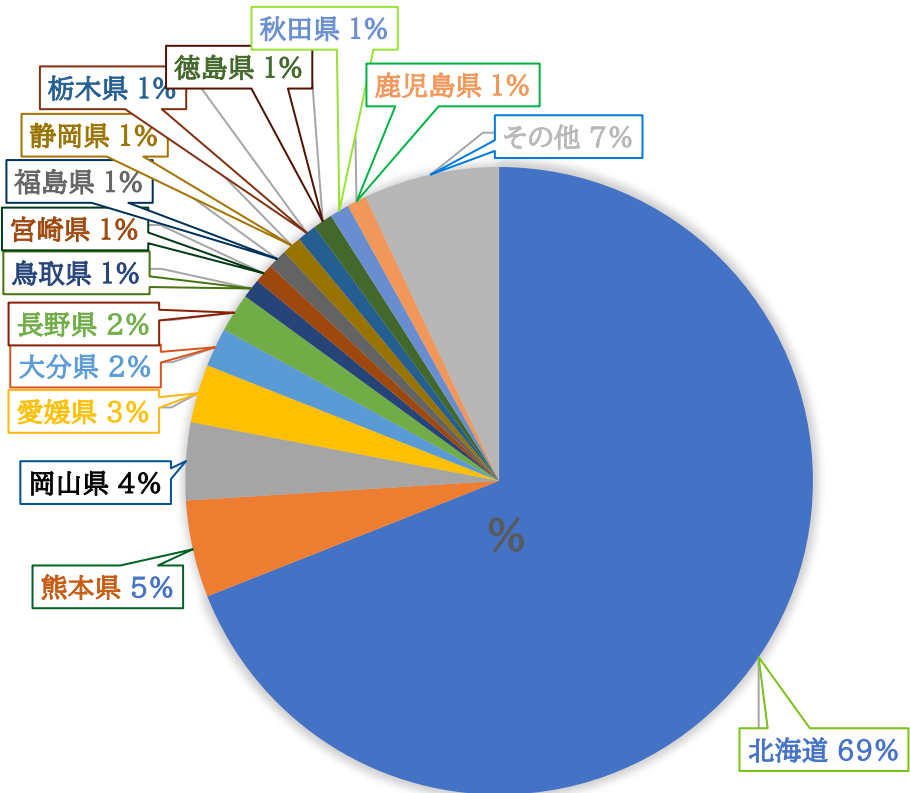
持続可能な森林・林業・木材産業の発展のため、以下において「森林認証制度」を適切に位置づけることを提案

1. 生物多様性保全への貢献
2. 森林・林業・木材産業の持続的かつ健全な発展への貢献
3. 林業・木材産業における労働安全の確保
4. 国産木材の持続可能性と国際競争力の向上
5. 輸入木材の持続可能性の担保



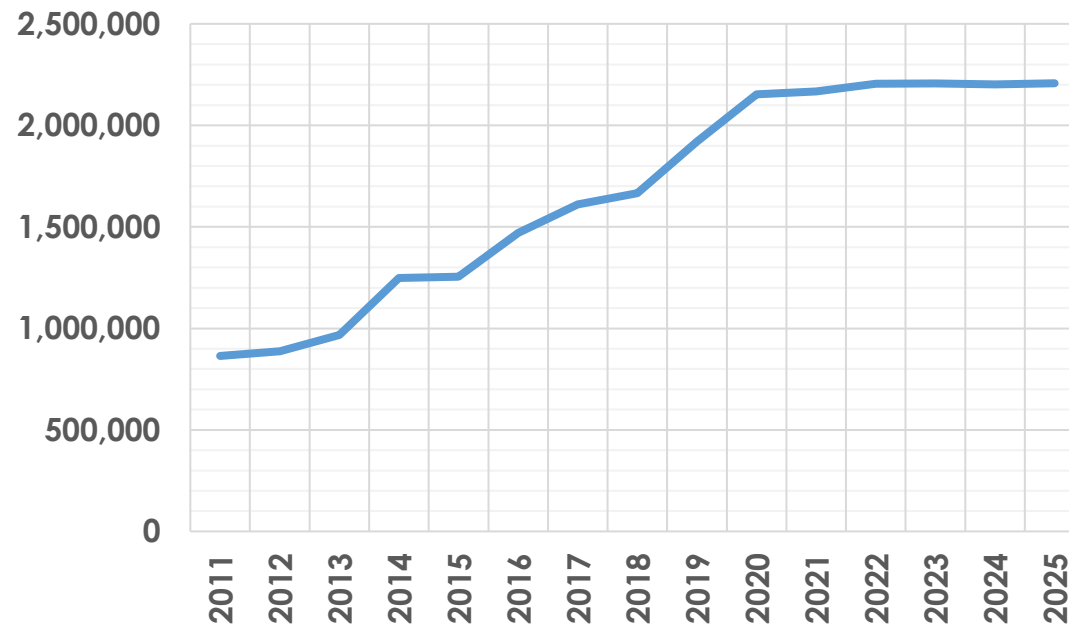
6. SGEC認証の状況

SGEC認証林面積分布と推移

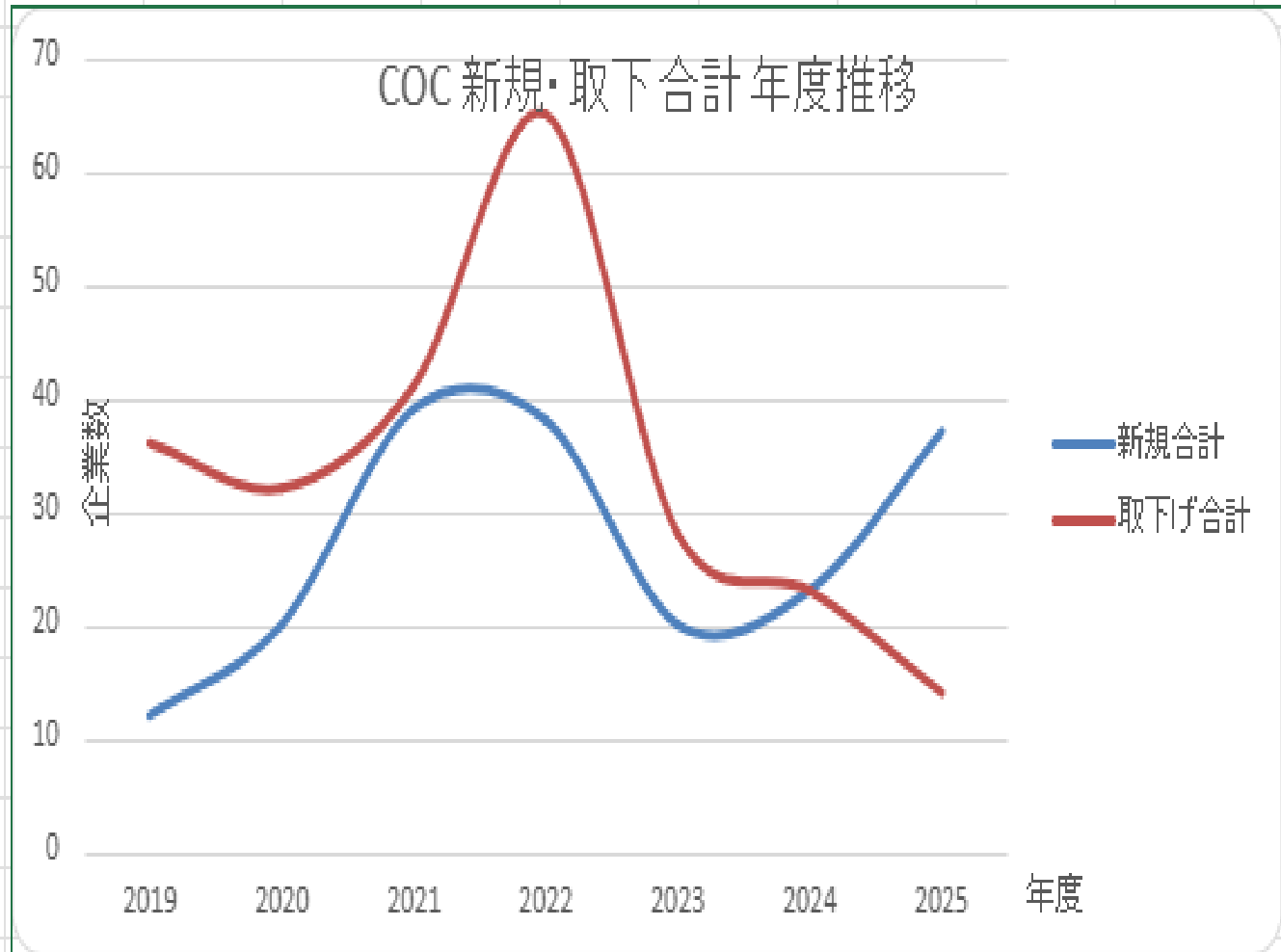


都道府県別認証林
2025年4月時点

日本国内の認証林:221万畝(日本の人工林の約20%超相当)
2025年12月末時点



| 年度 | 新規 | 取下 |
|------|----|----|
| 2019 | 12 | 36 |
| 2020 | 20 | 32 |
| 2021 | 39 | 41 |
| 2022 | 38 | 65 |
| 2023 | 20 | 28 |
| 2024 | 23 | 23 |
| 2025 | 37 | 14 |



7. プロモーション活動

(1) SNSを活用したプロモーション

9

・ Facebook

・ インスタグラム

・ X

https://twitter.com/SGEC_PEFC



ホーム

話題を検索

通知

メッセージ

ブックマーク



2. SGEC/PEFCニュースレターの発行(年6回):日本語版と英語版

10



2025年

[Vol.77\(2025年12月3日発行\)](#)

[Vol.76 \(2025年10月1日発行\)](#) [English](#)

[Vol.75 \(2025年7月23日発行\)](#) [English](#)

[Vol.74 \(2025年6月2日発行\)](#) [English](#)

[Vol.73 \(2025年3月27日発行\)](#) [English](#)

[Vol.72 \(2025年1月22日発行\)](#) [English](#)

【2025年12月3日発行】

目次

1. 第11回「ブランドみらい☆ミニセミナー」を開催
2. 福岡県の高校生に森林認証を学ぶセミナーを実施
3. JICAにおいて森林認証研修を実施
4. 長野県での「SGEC認証材のこれからを考える集い」
5. 札幌にて「森林吸収原対策推進Day」を開催
6. おきたま林業株式会社がSGEC-FM認証を取得を報告
7. 「滝上町国民健康保険診療所」がSGEC プロジェクト認証のもと開設
8. 2025年PEFCメンバーオンライン会合で総会が開催
9. 大阪万博パビリオンでイベント

3. フォーラム・セミナー等の開催

(1) フォーラム・セミナー

- ・SGEC/PEFC大阪万博記国際フォーラムの開催(5.12)、
- ・万博関連イベント(マレーシア館(6.12)、オーストリア館(9.18)、インドネシア館(10.3)、オーストラリア館(10.3))への参加
- ・ミニセミナーの開催 (~SDGs x 国産材と持続可能性(3.18) 、~SDG x 森林認証の基礎知識(6.18))
- ・みんなでつくる持続可能な森林と社会キックオフフォーラム(5.30)への参加
- ・地方セミナー等への参加

鳥取県北栄町道の駅「ほうじょう」開駅式(4.25)、鳥取県グループ森林管理認証取得セミナー(6.9)、鹿児島県認証促進セミナー(8.28-29)、長野県「SGEC認証材のこれからを考える会」(11.6)、山形県おきたま林業(株) SGEC森林認証取得報告会(11.6)、北海道滝上町国民健康保険クリニックプロジェクト認証書授与式(11.18)、北海道森林認証活用セミナー(11.20)等に参加

(2) イベント等

- ・SGEC/PEFC2026年植樹祭(11.8)の開催予定のほか、秋田県上小阿仁村育樹祭(10.29)に参加をしていたが、熊の出現情報があり中止

2025 大阪・関西万博記念 SGEC/PEFC国際フォーラム

趣旨:

2025関西・大阪万博の開催まで残すところあと数か月となったが、万博においては、メインの施設である通称「リング」のほか、日本館、海外パビリオンにおいて、SGEC/PEFC森林認証材も使用され建築が進められているところである。そこで、こうして森林認証材が使用されていること、森林認証材利用の意義等をオンラインでも発信し国内外にアピールするとともに、万博の成功を祈念し、PEFC本部、及び各国のPEFC管理団体等関係者の参加も得て国際フォーラムを開催。

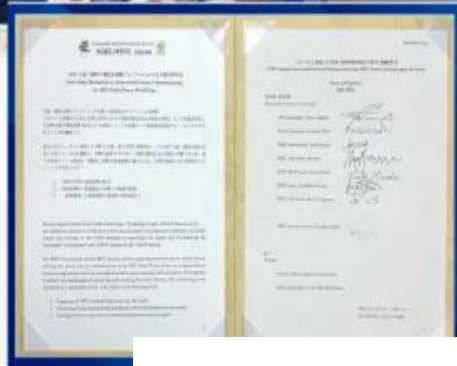
日時:2025年5月12日(月) 14:00~16:50

場所:大阪府市内(大阪国際交流センター)

参加国定): デンマーク、イタリア、インドネシア、スペイン、タイ、PEFC本部/アジア

形式: リアル、オンラインハイブリッド ※日英同時通訳あり

後援: 林野庁 / 国際博覧会協会 / 大阪府木材連合会 / (公社)大阪府建築士会



参加国PEFCによる大阪共同宣言

デンマーク / インドネシア / イタリア /
日本 / スペイン / タイ / 本部
オーストリア (バーチャル)



林野庁 福田課長



万博協会 永見局長



大阪府木連 副会長



PEFCオーストリア
会長



SGEC/PEFCジャパン
参与



TFCC (PEFCタイ)
会長



PEFCスペイン
事務局長



PEFCイタリア
事務局長



PEFC本部
アジア地域マネージャー

2025大阪・関西万博記念国際フォーラムにおける大阪共同宣言 Joint Osaka Declaration in International Forum Commemorating the 2025 Osaka/Kansai Expo

大阪・関西万博のテーマ、「いのち輝く未来社会のデザイン」を認識し、このテーマ具体化のために必要な世界における持続可能な社会と経済の実現、そして国連が決定した持続可能な発展目標（SDGs）の達成にとっての基盤として森林認証制度が欠くべからざるものであることを再確認して、


私たち本フォーラムに参加したPEFC本部、及びPEFC関係国は、この2025大阪・関西万博を記念した本フォーラムを機会に、世界の森林を守り育て、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の項目について結束を一層強め、緊密な情報交換と協力と共に、目標の達成に向け活動を行っていくことを宣言します；

- 1 世界のPEFC認証森林の拡大
- 2 認証原材料・認証製品の市場への流通を促進
- 3 一般消費者への認証制度の重要性の認知度向上

ミニセミナー

15

シリーズ4年目
SGEC/PEFCジャパン



第9回 **ブランド**みらい☆ミニセミナー

～SDGs X 国産材と持続可能性

開催しました

シリーズ4年目
SGEC/PEFCジャパン



第10回 **ブランド**みらい☆ミニセミナー

SDGs X 森林認証の基礎知識とDDS

開催しました

シリーズ4年目
SGEC/PEFCジャパン



第11回 **ブランド**みらい☆ミニセミナー

SDGs X
大阪万博での木材使用とその今後

開催しました

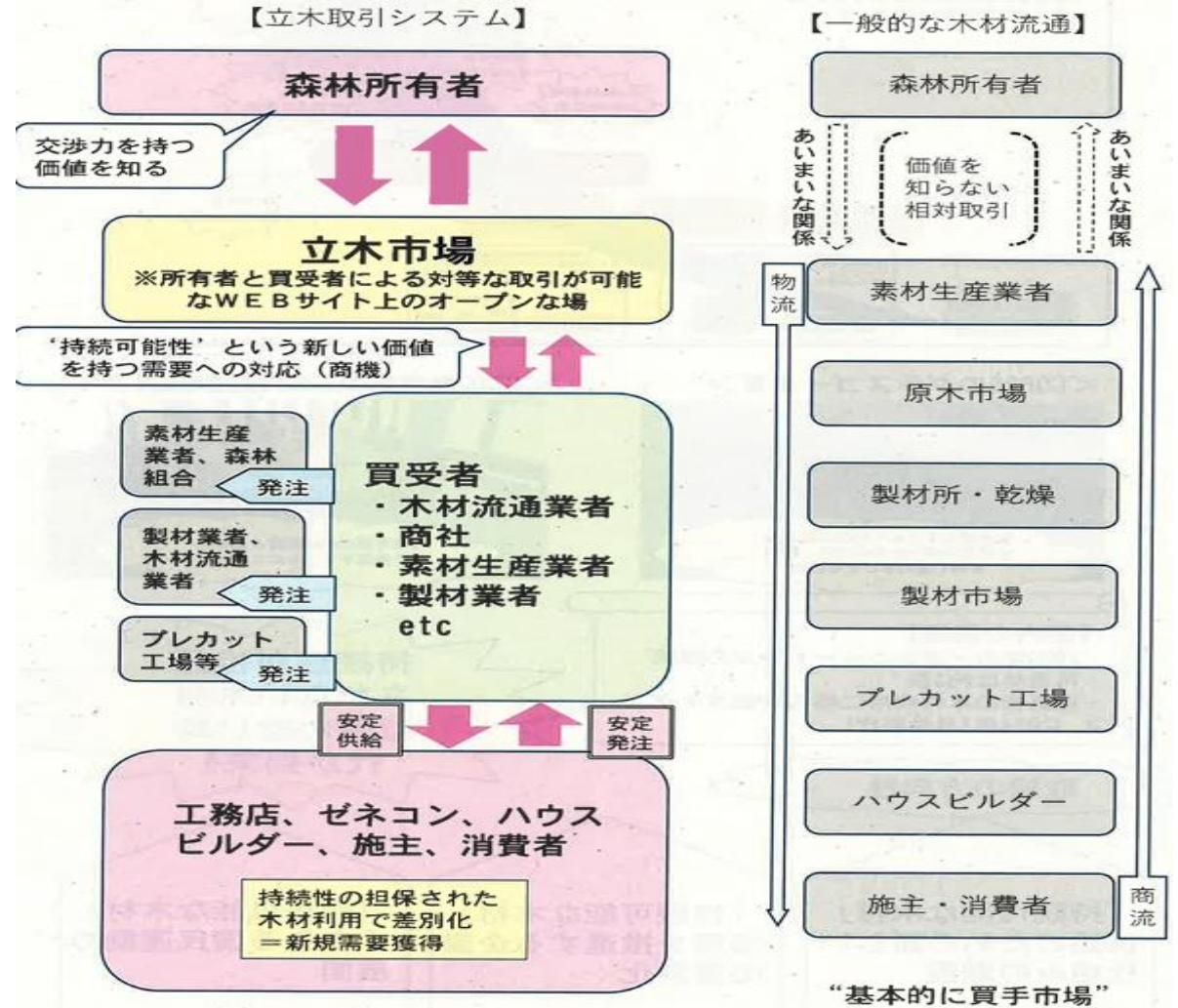
林業界に新たな木材流通展開の動きー

みんなでつくる持続可能な森林と社会 共同宣言 2025

1. 持続的な森林経営を進める森林所有者を支えていく環境の構築に取り組む
2. 需要者が持続性の担保された木材を安定的に入手することを可能とするための取り組みを働きかける
3. 国民及び重要者に信頼される持続性の担保された木材の活用に取り組むよう働きかける
4. 国の方針として持続性の担保された木材を活用していくことを明確にすることを求めていくとともに、民間レベルにおいて『持続性の担保された木材しか使わない』という行動の輪を広げる運動に取り組み、国民意識の喚起・普及に努める

令和7年5月30日

国産材を活用し日本の森林を守る運動推進協議会
 日本林業協会
 全国森林組合連合会、
 全国木材組合連合会
 日本林業経営者協会



鹿児島県で新たな動き：県初のSGEC材出荷式(12.16)



(3) 2025年 第 5 回森林認証ロゴ集めコンテスト実施

【目的】

森林認証マークであるSGECマークとPEFCマークの認知拡大のため、身近な製品についていることを知ってもらう機会とし、メーカーへの協力を確保することによりPR強化・新たな認証品の発掘の機会とする。

【キャンペーン期間】

クイズキャンペーン：2024年6月9日から6月22日
写真投稿キャンペーン：2024年6月16日から22日

【方法】

クイズキャンペーン：SGEC/PEFC公式アカウントをフォローとリポスト、クイズ正解者の中から抽選で100名に商品(5,000円相当)プレゼント
写真投稿キャンペーン：マークのついた商品を撮影、「#SGEC・PEFCで豊かな未来を」をつけて応募(応募者の中から抽選で20名に賞品(1,000相当)プレゼント)

【結果】

| | 2025年 | 2024年 | 2023年 |
|--------|--------|-------|-------|
| フォロアー数 | 17,847 | 6,615 | 4,450 |
| クリック数 | 8.9% | 3.3% | 0.5% |
| リポスト数 | 29,873 | 3,686 | 1,624 |
| 画像投稿数 | 905 | 403 | 225 |



(4) 万博における認証材利用に向けた対応

- 認証材利用状況調査の実施
- 万博協会、関係団体からの情報収集
- 各国NGBを通じたパビリオン等へのSGEC/PEFC認証材利用の働きかけ
- オーストリア館の木製オーナメントのプロジェクト認証の実現

(5) 中学校、高校生の修学旅行におけるSDGs 関連企業・団体訪問学習に対応 愛知県の中学校、岡山県、福岡県の高校を対象に実施

(6) 展示会への出展及び会場でのセミナーの実施

(7) 絵本『森と生きる未来へ』におけるSGEC/PEFC森林認証制度の紹介

展示会でのSGEC/PEFC認証を対象としたセミナー



セミナー

展示ブース



中学校、高校生の訪問学習

21



愛知県大治町中学校



岡山県立高校

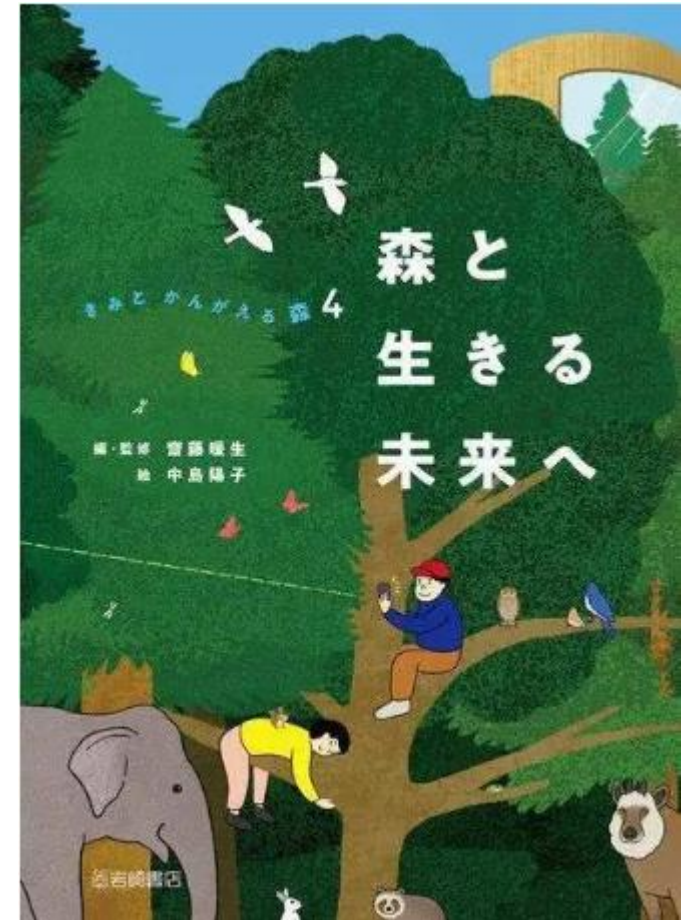


福岡県立京都高校

絵本『森と生きる未来へ』でSGEC/PEFC森林認証制度を紹介

岩崎書店から出版された「きみとかんがえる森」シリーズ4『森と生きる未来へ』（齋藤 暖生 編・監修／中島 陽子 絵）でSGEC/PEFCの森林認証制度が紹介された。

イラストや写真がたくさん使われており、分かりやすい文章で環境問題について語られており、子どもだけでなく大人にとっても、環境保護の重要性を考えるきっかけを与えてくれる絵本



8. PEFC関連の動き

- (1) PEFC主催バイオマス関連会合、打ち合わせ等に参加 (2.6、4.14、5.22、6.5))
- (2) PEFCメンバーズ会議への出席(ベトナム・ホーチミン) (5.5~10)

EUDR規格の準備状況報告等
当方より大阪万博における認証材利用
の状況、クリーンウッド法の改正、FIT/FIP
をめぐる状況等について報告するとともに
バイオマスのセッションにおいて、パネリスト
の一人となり、FIT/FIPをめぐる動きについて
発表。



- (3) PEFCプロジェクト認証規格検討タスクフォースへの参加(1月からこれまで11回)
- (4) PEFC アライアンス・オンラインに出席(11.4~21):2026年事業計画、予算の採択、国際ステークホルダー新会員の了承。新たなプロジェクト認証規格の説明のセッションにおいて日本の状況について報告

最近の動向 認証に対する関心の高まり

- ・[ホームセンター等エンドユーザーの意向によるサプライチェーンにおける認証取得の増加]
- ・[認証取得の増加]
 - 木材及びエネルギー部門における新たな認証取得の増加
- ・[地域における取組みの広がり]
 - 鹿児島県、長野県鳥取県等で認証の推進に向け新たな動き
- ・[ESG投資関連] 認証について問い合わせの増加—システム系企業、大手銀行等
- ・[森林クレジットとの連携の動き]
 - 各地で認証林のクレジット取得や検討の動き(森林の保全、管理の担保とクレジット収入を利用した認証維持費用の確保)
- ・[FIT・FIP関連でエネルギー分野での認証取得の増加]
 - GHGカリキュレーション認証機関としてPEFC位置づけに向けた取り組み
- ・[CFD、TNFD]など温暖化防止・生物多様性の保全についての企業の取組み情報開示の動き
 - ➔認証を取得していれば、開示に必要な情報の収集が容易(PEFCガイドラインの作成等)